

岐阜城歴史年表

時代	年号	西暦	城主名	事項
鎌倉	建仁年間	1201～1204	二階堂行政	鎌倉幕府の軍事目的のため築城と伝えられる
			佐藤朝光	
			伊賀光宗	
			稲葉光資	稲葉氏と改姓、稲葉山城と名付ける
正元年間	1259～1260	二階堂行藤	関市周辺に領地を持ち、新長谷寺を再興する	
室町	応永年間	1394～1428	斎藤利永	土岐氏の執権で城を修築する 文安2年 加納城に移る
			斎藤妙椿	応仁の乱で京都へ出陣 歌人としても有名
			長井新左衛門尉	斎藤道三の父親といわれる
	天文年間	1532～1554	斎藤道三	稲葉山城を修築して入城 ※入城年については諸説あり 天文23年 鷲山城に移る 弘治2年 義龍と戦い死去
	天文23年	1554	斎藤義龍	永禄4年5月 病死する(34歳)
	永禄4年	1561	斎藤龍興 (竹中重治)	若年で跡を継ぐが、永禄7年2月竹中半兵衛重治によって一時占拠される 永禄10年8月織田信長に攻められ開城 木下藤吉郎功名する
永禄10年	1567	織田信長	尾張小牧から移り稲葉山城(のちの岐阜城)に移り楽市楽座を行うなど城下町岐阜の発展を図る 天正4年には安土城に移る 天正10年 本能寺の変で自害する	
安土	天正4年	1576	織田信忠	父 信長の跡を継いで、岐阜の繁栄に尽くす 本能寺の変で二条城において、明智光秀に攻められ戦死する
	天正10年	1582	神戸信孝	信長の三男で伊勢神戸城から移り、天正11年秀吉に攻められ開城する
	天正11年	1583	池田元助	天正12年小牧長久手の合戦で戦死する
桃山	天正13年	1585	池田輝政	天正18年9月三河吉田城に移り、後に姫路城主となる
	天正19年	1591	豊臣秀勝	秀吉の養子で羽柴姓を名乗り、文禄元年朝鮮に出陣し、唐島(巨済島)で病死する
	文禄元年	1592	織田秀信	安土城から移る 慶長5年8月徳川軍に攻められ開城 後に高野山に入り慶長10年5月死去(26歳)
	慶長6年	1601		廃城となる。天守閣、櫓、石垣等を加納城へ移す
明治	明治43年	1910		模擬城建設
昭和	昭和18年	1943		模擬城焼失
	昭和31年	1956		現在の天守閣再建
平成	平成9年	1997		再建以来初の大改修
	平成13年	2001		1201年から数えて800年目にあたる